



2023年2月10日

各 位

会 社 名 リソルホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 大澤 勝  
(コード番号 5261 東証プライム)  
問合せ先 経理部長 及川 毅雄  
(TEL 03-3344-8861)

## 2023年3月期通期連結業績予想および配当予想に関するお知らせ

当社は、新型コロナウイルス感染症による影響等により2022年5月12日に未定として公表いたしました2023年3月期の通期連結業績予想及び配当予想について最近の業績動向を踏まえ、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想について

##### (1) 2023年3月期 通期連結業績予想 (2022年4月1日~2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回修正予想 (B)	22,000	750	600	850	153.01
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期連結実績 (2022年3月期)	20,902	685	785	474	85.35

##### (2) 業績予想の理由

2023年3月期の通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が国内経済および当社業績に与える影響に関しまして、合理的な算定が困難であることから未定としておりました。

同2023年3月期の連結業績につきましては、新型コロナウイルスの影響による行動制限が緩和され社会経済活動に回復の動きが見受けられました。国際情勢の不安定化による、エネルギー・原材料等のコスト高騰や、急激な円安といった景気の下振れリスクも高まるものの、インバウンド需要が徐々に増加する傾向にある等、当社グループを取り巻く環境にも回復の兆しが見えてきました。また、投資再生事業においては、福島石川太陽光発電所第二設備の信託受益権の売却を第1四半期連結会計期間に実施いたしました。

第4四半期連結会計期間においては運営事業の売上高は対前年比では回復しているものの、光熱費の値上げや原材料高等の影響から経常利益については減少を予想しております。なお、第4四半期連結会計期間に取得を予定しておりました東急不動産株式会社の保有するゴルフ場取得に伴う負ののれん発生益の計上を予定しており、当期純利益は前期連結実績を上回る見通しです。

## 2. 配当予想について

### (1) 2023年3月期 配当予想

	年間配当金 (円)		
	第2四半期	期末	年間
前回予想 (2022年5月12日公表)	—	—	—
今回修正予想	—	50円00銭	50円00銭
当期実績	0円00銭	—	—
前期実績 (2022年3月期)	0円00銭	50円00銭	50円00銭

### (2) 配当予想の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要政策と認識し、将来の事業展開と内部留保による財務体質の充実を勘案したうえ、安定的かつ継続的に実施していくことを基本方針としております。

2023年3月の期末配当金につきましては、新型コロナウイルス感染拡大が当社業績に及ぼす影響額を精緻に算出することが困難であったことから未定としておりました。

依然として、先行き不透明な事業環境ではありますが、当社の配当に関する決定方針や内部留保を勘案し、今年度（2023年3月期）の期末配当を1株当たり50円に修正いたします。

(注) 上記の業績予想および配当予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上